

令和6年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年8月10日

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア
コード番号 3851 URL <https://www.nippon1.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 世古哲久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 猿橋健蔵

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 令和5年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第1四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第1四半期	1,310	4.6	67		98	77.8	51	82.5
5年3月期第1四半期	1,253	39.1	278	61.8	442	39.0	294	40.3

(注) 包括利益 6年3月期第1四半期 403百万円 (33.8%) 5年3月期第1四半期 609百万円 (22.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第1四半期	10.24	10.22
5年3月期第1四半期	58.58	58.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第1四半期	9,913	7,326	72.6
5年3月期	9,379	6,948	72.7

(参考) 自己資本 6年3月期第1四半期 7,194百万円 5年3月期 6,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期				5.00	5.00
6年3月期					
6年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和6年3月期の連結業績予想につきましては、令和5年3月期決算短信(令和5年5月12日付公表)において発表いたしましたとおり未定といたしました。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8'2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期1Q	5,131,400 株	5年3月期	5,131,400 株
期末自己株式数	6年3月期1Q	90,856 株	5年3月期	90,856 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期1Q	5,040,544 株	5年3月期1Q	5,033,257 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、感染症対策が大幅に緩和されたことにより、出遅れていたサービス消費の持ち直しが見込まれることで、物価高が続く中でも個人消費の増加が期待されますが、金融資本市場の変動等により引き続き先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループが所属するゲーム業界では、巣ごもり需要が一巡したことでゲームソフトの売上低下が不安視されていましたが、デジタル化の進展により販売地域が広がったことや旧作販売の伸長などの影響で、ゲームソフト販売を含むセグメントの売上は底堅く推移しております。その他にも、クラウドゲームサービスの登場によるプラットフォームの多様化、成長市場として近年注目されているeスポーツの発展など、市場環境には更なる変化が見られます。

当社グループは、このような経営環境の中、当社グループの商品やサービスを通じてゲームという分野に限らず年齢・性別・地域を超えたすべての人々に楽しさを提供し、その結果として当社グループと当社グループに関わるすべての人々が豊かになることを目指して成長してまいります。そのために、当社グループは永続的な発展を目指し、「開発力の強化」「販売力の強化」「生産性の向上」に取り組むことに加えて、中期的な経営計画として国内販売20万本を超えるIP(知的財産)を作り出すことを目指してまいります。

このような状況の中、エンターテインメント事業におきましては、国内では1タイトルのゲームソフトを発売いたしました。また、インターネット環境でゲームソフトを購入できるPlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売等を行いました。

学生寮・その他事業におきましては、岐阜県内の大学学生寮の運営等を行ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,310,600千円(前年同期比4.6%増)、営業損失67,838千円(前年同期は営業利益278,400千円)、経常利益98,132千円(同77.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益51,592千円(同82.5%減)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(エンターテインメント事業)

パッケージタイトルとしましては、国内では『シカトリス』の1タイトルを発売いたしました。また、第2四半期以降に発売を予定しております『流行り神1・2・3パック』等の開発を進めてまいりました。

その他につきましては、PlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売等を行いました。加えて、新規タイトルの開発及び関連商品のライセンスアウト、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営も引き続き行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高1,292,100千円(同4.5%増)、営業利益50,714千円(同86.0%減)となりました。

(学生寮・その他事業)

学生寮・その他事業におきましては、学生支援を目的として岐阜県内の大学学生寮2件の運営等を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高18,499千円(同13.7%増)、営業損失9,158千円(前年同期営業損失9,019千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産9,913,114千円となり、前連結会計年度末に比べ533,486千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末に比べ110,540千円の減少）、売掛金及び契約資産の増加（同364,445千円の増加）、商品及び製品の増加（同72,836千円の増加）、前払費用の増加（同69,063千円の増加）によるものであります。

主な固定資産の増減は、建物仮勘定の増加（同44,222千円の増加）、投資有価証券の増加（同107,433千円の増加）によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は2,586,250千円となり、前連結会計年度末に比べ155,194千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の増加（同60,754千円の増加）、未払金の増加（同72,255千円の増加）、賞与引当金の減少（同73,955千円の減少）、契約負債の増加（同80,102千円の増加）、返金負債の増加（同39,358千円の増加）によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は7,326,864千円となり、前連結会計年度末に比べ378,292千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加（同26,389千円の増加）、その他有価証券評価差額金の増加（同18,503千円の増加）、為替換算調整勘定の増加（同333,398千円の増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年3月期の連結業績予想につきましては、令和5年3月期決算短信（令和5年5月12日付公表）「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」に記載した新体制構築のための資金・資源の投入等、いまだ不確定な要素を含んでおり、未定としております。

なお、令和6年3月期の業績見通しが算出できる状況になりましたら、適時に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,353,611	4,243,070
売掛金及び契約資産	279,780	644,226
商品及び製品	183,763	256,599
仕掛品	509,796	464,931
前払費用	929,123	998,187
その他	277,401	281,636
貸倒引当金	△17,905	△19,374
流動資産合計	6,515,571	6,869,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	826,635	817,503
機械装置及び運搬具（純額）	9,591	8,529
土地	678,340	680,198
建設仮勘定	67,740	111,962
その他（純額）	74,387	87,167
有形固定資産合計	1,656,694	1,705,361
無形固定資産	25,290	55,322
投資その他の資産		
投資有価証券	1,127,670	1,235,104
その他	54,400	48,050
投資その他の資産合計	1,182,071	1,283,154
固定資産合計	2,864,056	3,043,838
資産合計	9,379,628	9,913,114

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	258,850	319,605
短期借入金	372,210	316,920
1年内返済予定の長期借入金	29,780	31,304
未払金	131,813	204,068
未払法人税等	14,456	38,913
賞与引当金	116,869	42,914
契約負債	39,239	119,341
返金負債	406,130	445,489
その他	160,795	163,736
流動負債合計	1,530,145	1,682,294
固定負債		
長期借入金	658,586	650,251
退職給付に係る負債	62,646	62,520
繰延税金負債	140,762	151,485
その他	38,914	39,697
固定負債合計	900,909	903,955
負債合計	2,431,055	2,586,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,444	557,444
資本剰余金	547,444	547,444
利益剰余金	5,176,467	5,202,857
自己株式	△56,349	△56,349
株主資本合計	6,225,006	6,251,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△89,605	△71,101
為替換算調整勘定	681,084	1,014,483
その他の包括利益累計額合計	591,479	943,381
新株予約権	132,086	132,086
純資産合計	6,948,572	7,326,864
負債純資産合計	9,379,628	9,913,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月 1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月 1日 至 令和5年6月30日)
売上高	1,253,234	1,310,600
売上原価	504,107	877,290
売上総利益	749,126	433,309
販売費及び一般管理費	470,726	501,147
営業利益又は営業損失(△)	278,400	△67,838
営業外収益		
受取利息	12,297	28,179
受取配当金	130	127
為替差益	152,523	138,207
その他	1,160	1,318
営業外収益合計	166,112	167,832
営業外費用		
支払利息	1,549	1,857
その他	602	4
営業外費用合計	2,152	1,862
経常利益	442,359	98,132
特別利益		
新株予約権戻入益	1,074	—
特別利益合計	1,074	—
税金等調整前四半期純利益	443,433	98,132
法人税、住民税及び事業税	140,691	44,371
法人税等調整額	7,885	2,168
法人税等合計	148,576	46,539
四半期純利益	294,857	51,592
親会社株主に帰属する四半期純利益	294,857	51,592

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月 1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月 1日 至 令和5年6月30日)
四半期純利益	294,857	51,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51,775	18,503
為替換算調整勘定	366,068	333,398
その他の包括利益合計	314,293	351,902
四半期包括利益	609,151	403,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	609,151	403,494
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自令和4年4月1日 至令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,236,959	16,275	1,253,234	—	1,253,234
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,236,959	16,275	1,253,234	—	1,253,234
セグメント利益又は損失 (△)	361,414	△9,019	352,395	△73,995	278,400

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△73,955千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自令和5年4月1日 至令和5年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,292,100	18,499	1,310,600	—	1,310,600
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,292,100	18,499	1,310,600	—	1,310,600
セグメント利益又は損失 (△)	50,714	△9,158	41,555	△109,393	△67,838

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△109,393千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。